

総合特別区域評価・調査検討会における評価結果の概要(平成25年度)

2. 分野等別状況 (2)地域活性化総合特区 ②ライフ・イノベーション分野(9/12)

	評価区分(*1)	総合評価 (IとIIの平均値にIIIを加味)	I 目標に向けた取組の進捗に関する評価	II 支援措置の活用と地域独自の取組の状況	III 現地調査時の指摘事項及び対応状況等(*2)	総合評価に係る専門家所見(主なもの)
かがわ医療福祉総合特区(香川県)	正	C 3.4	C 3.2 進捗度 ・電子カルテ機能統合型テレビ会議システム「ドクターコム」で診察する在宅患者数 76% ・へき地薬局が取扱う院外処方せん枚数/月 75% ・医師等が転院搬送の同乗に要した時間/月(※) (※)は定性的評価 等	C 3.2 財政支援等 ・ドクターコム活用促進事業(オリーブナース育成、診療支援システム整備) 等 地域独自の取組 ・複合型福祉サービス充実事業(独自に介護報酬を月額3,000円/人加算)	+0.20	<p>・規制緩和の協議が難航している事業(※1)もあるが、総合的な取組みの方向性と実効性を伴う事業遂行がなされている点は評価できる。</p> <p>・高額な施設整備が目的にならないよう、訪問看護師の育成(※2)などを持続可能な制度を中心に進めると良いのではないかと。魅力的な職場環境をどのように作るかが大きな課題である。</p> <p>・着実な成果が出ている部分もあるが、参加医療機関数が増加していないため、行政が戦略的・積極的に関与し、有効な改善策を示す必要である。</p> <p>※1: 薬剤師以外の使用者による薬剤の配達について、処方箋により調剤された薬剤は薬剤師による対面販売(情報提供)及び患者への配達が求められ、規制緩和は認められていない。</p> <p>・転院搬送時における医師同乗要件について、転院時において救急救命士のみでの対応は不可とされ、規制緩和は認められていない。</p> <p>※2: ドクターコム(電子カルテ機能統合型テレビ会議システム)を通じた医師の指示のもとで、簡易な検査や必要な処置を実施する訪問看護師(オリーブナース)を育成している。</p>

◆評価書は[こちら](#)

◆評価結果は[こちら](#)

*1)「正」とは正評価、「準」とは準評価を意味する。

*2)「IIIについては、「地方公共団体による総合評価の状況」についても評価している。